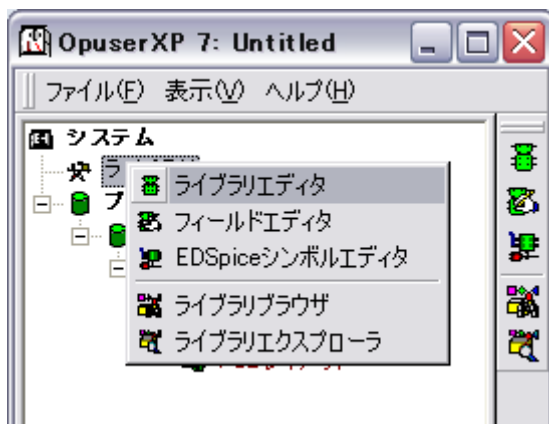


I. LIB_新しい部品を追加する

ライブラリエディタで新しい部品を追加します。

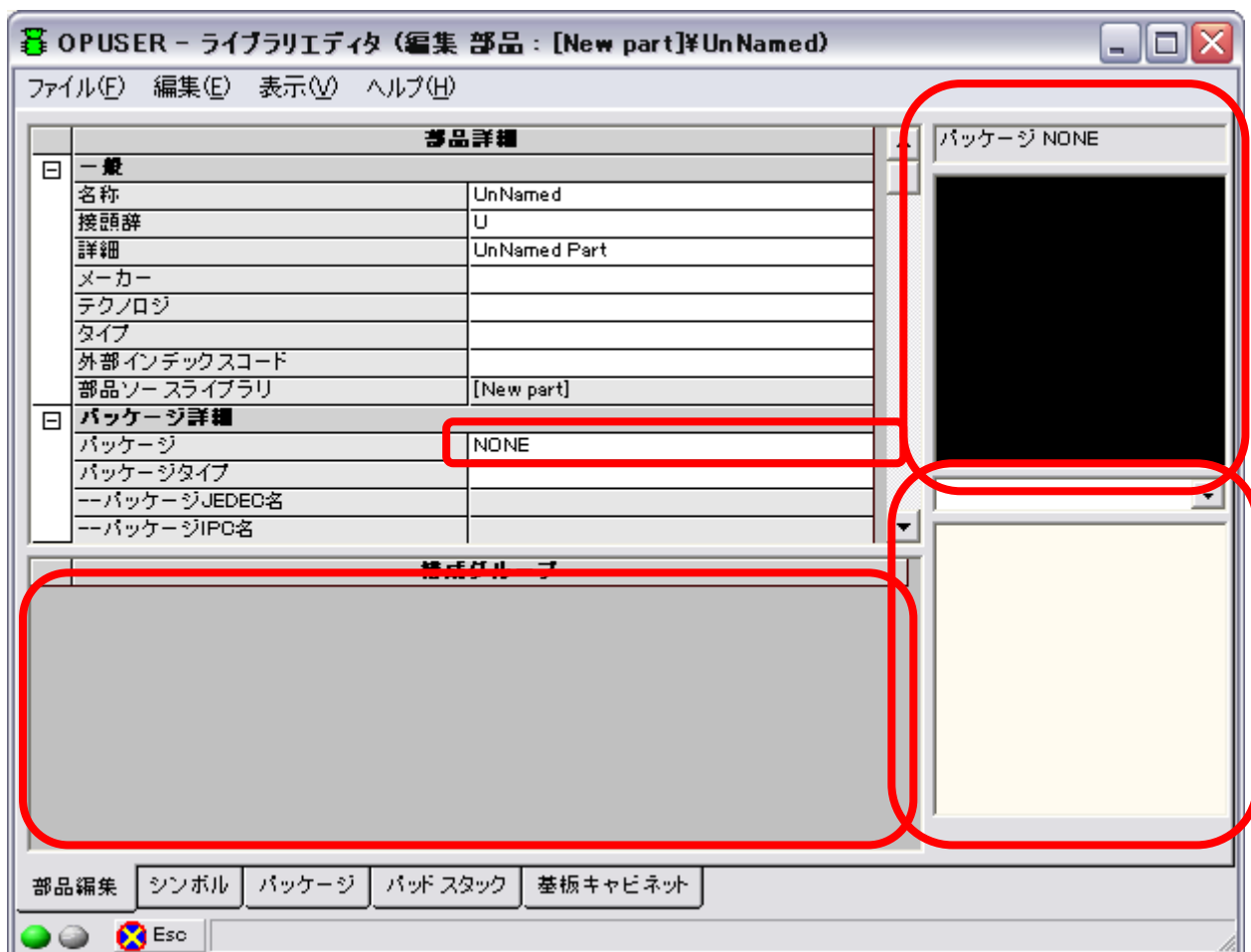
部品として登録するには『シンボル』と『パッケージ』が作成されている必要があります。登録の前にシンボル、パッケージを作成して下さい。

OPUSER メインメニュー『ライブラリ』の上で右クリックし『ライブラリエディタ』を選択。

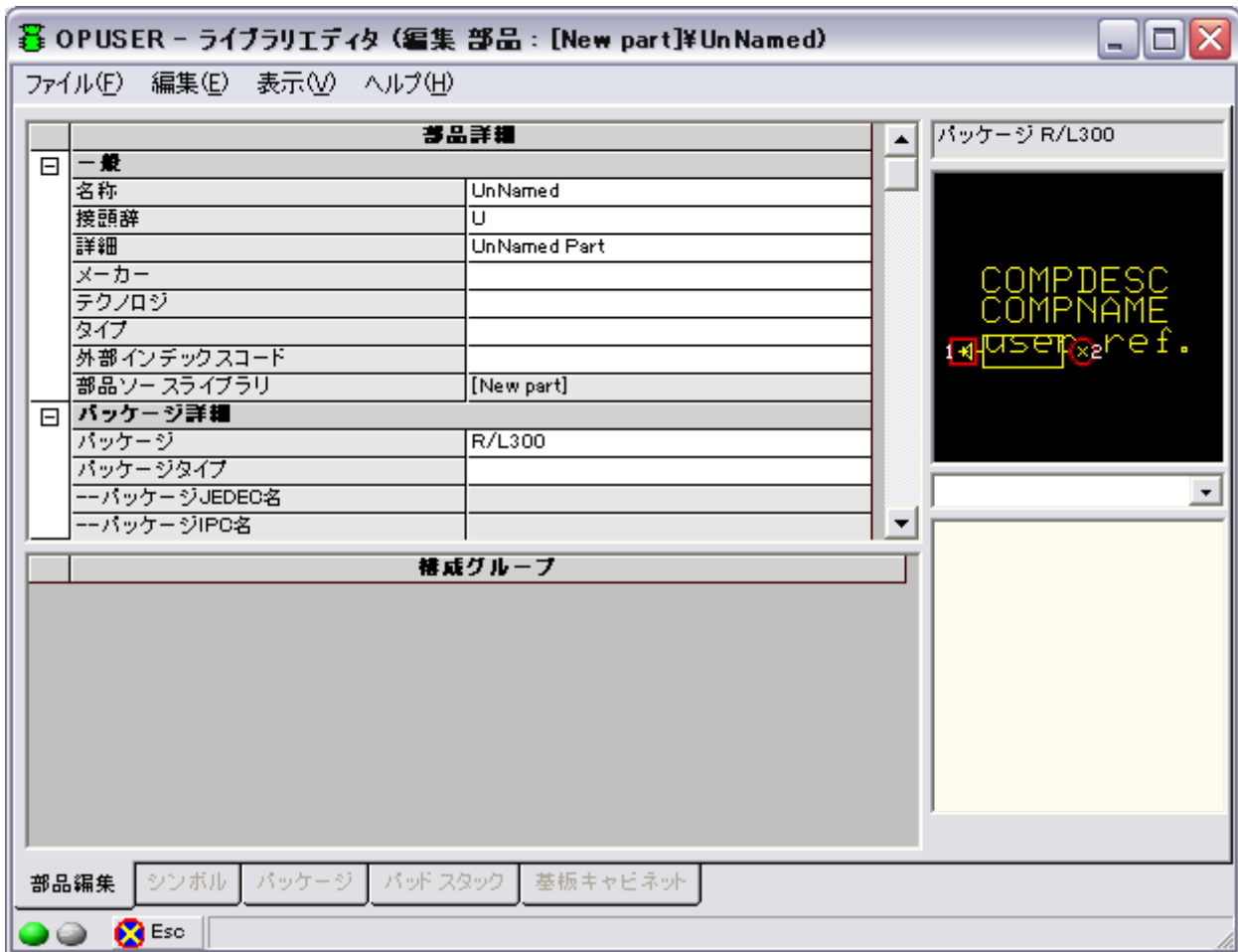


ライブラリエディタが起動されます。この状態ではシンボル、パッケージともに空欄になっています。

シンボル、パッケージの追加は『マニュアル入力』、『ライブラリエクスプローラから選択』、『ライブラリブラウザから選択』の3つの方法があります。以下のページを参考にして下さい。

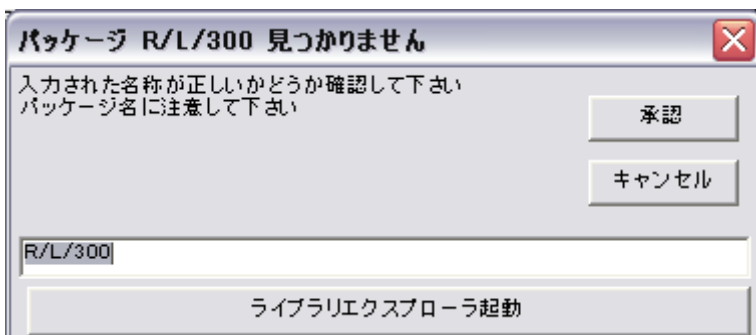


パッケージの箇所に『R/L300』と入力すると、ライブラリからパッケージが読み込まれます。

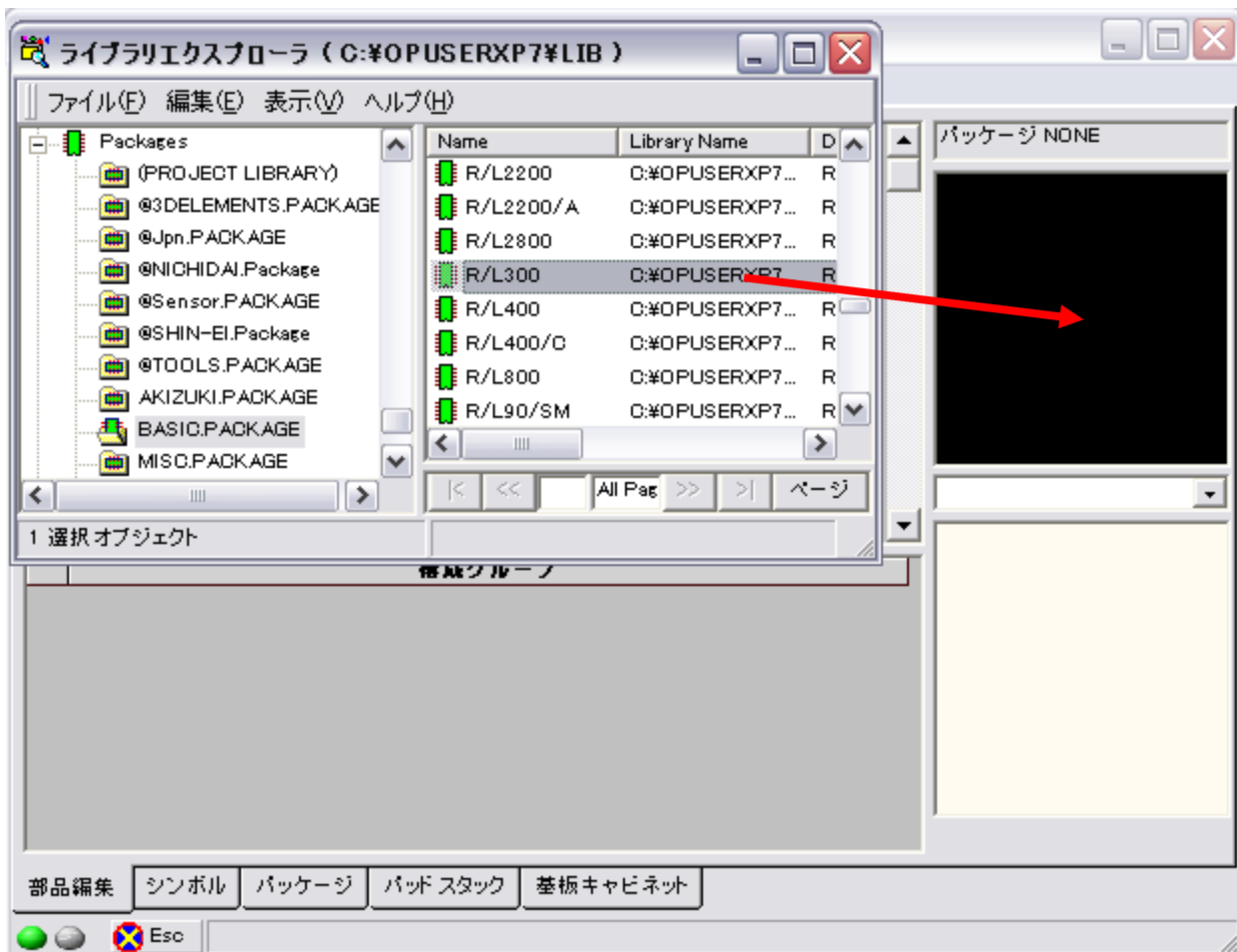


誤った名称を入力するとダイアログが表示、名称を修正するか『ライブラリエクスプローラ』を起動して、部品を選択します。

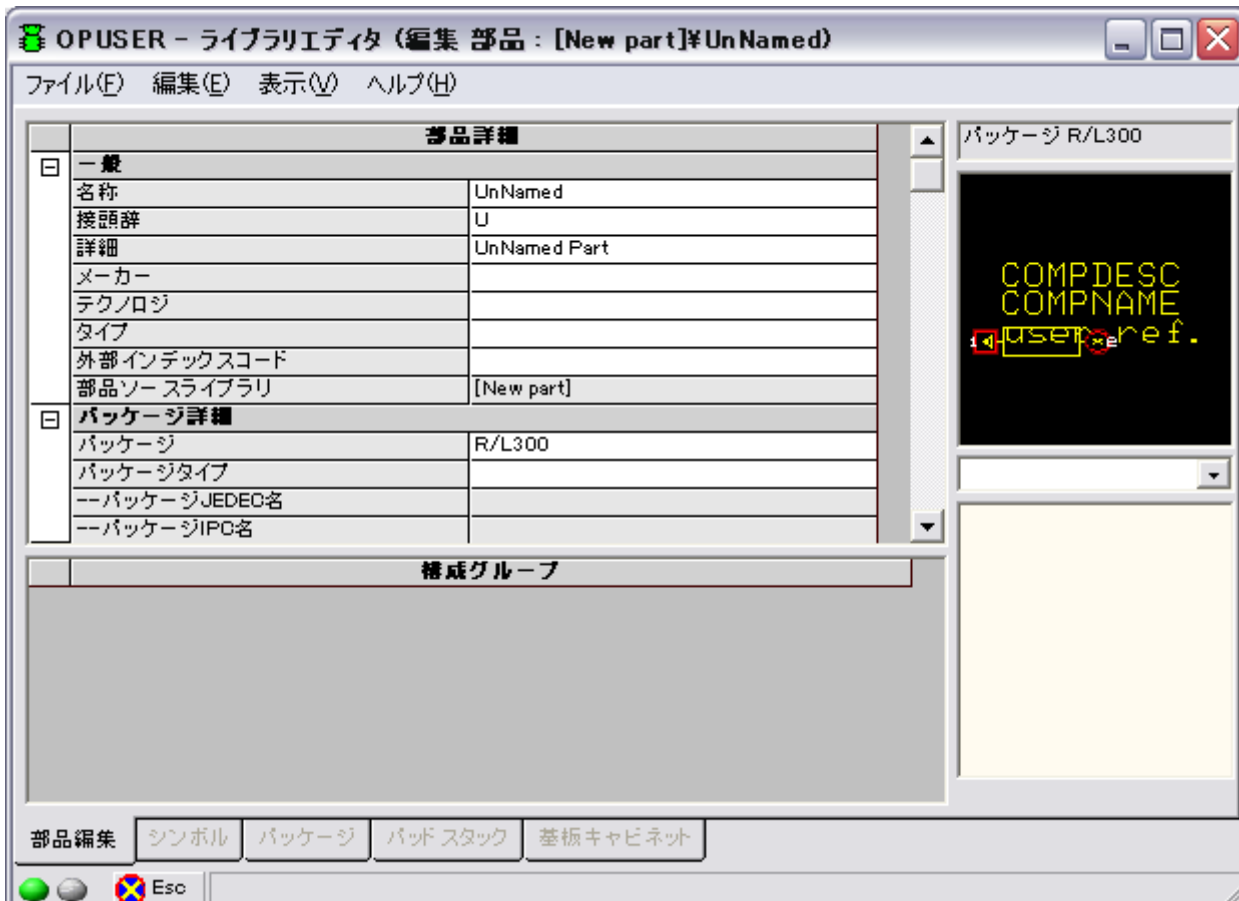
今回は『ライブラリエクスプローラ』の起動をクリック。



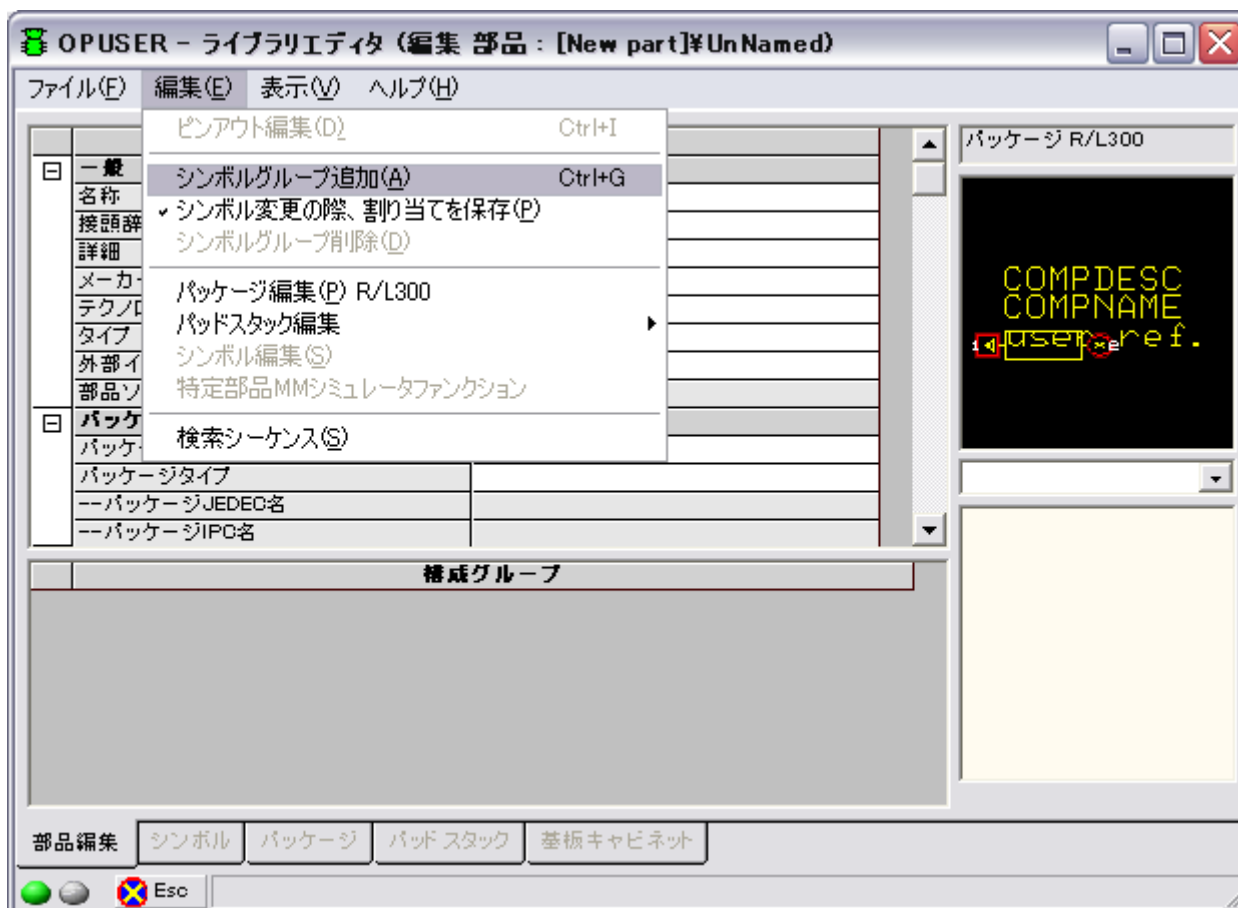
パッケージライブラリから目的のパッケージを選択、ライブラリエディタへドラッグ&ドロップします。



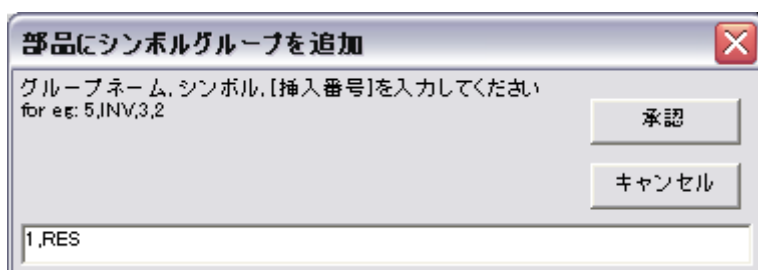
パッケージが読み込まれます。



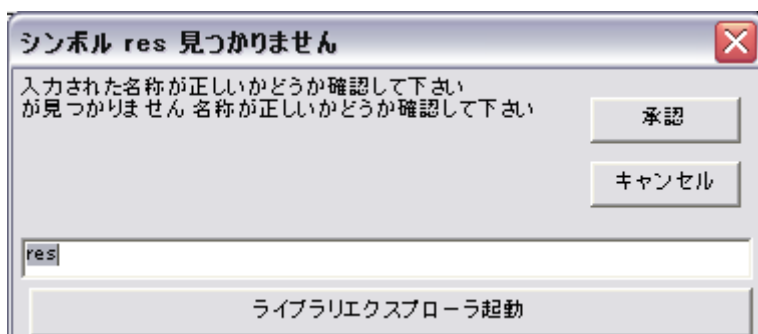
シンボルの追加はメニュー『編集/シンボルグループ追加』を選択。



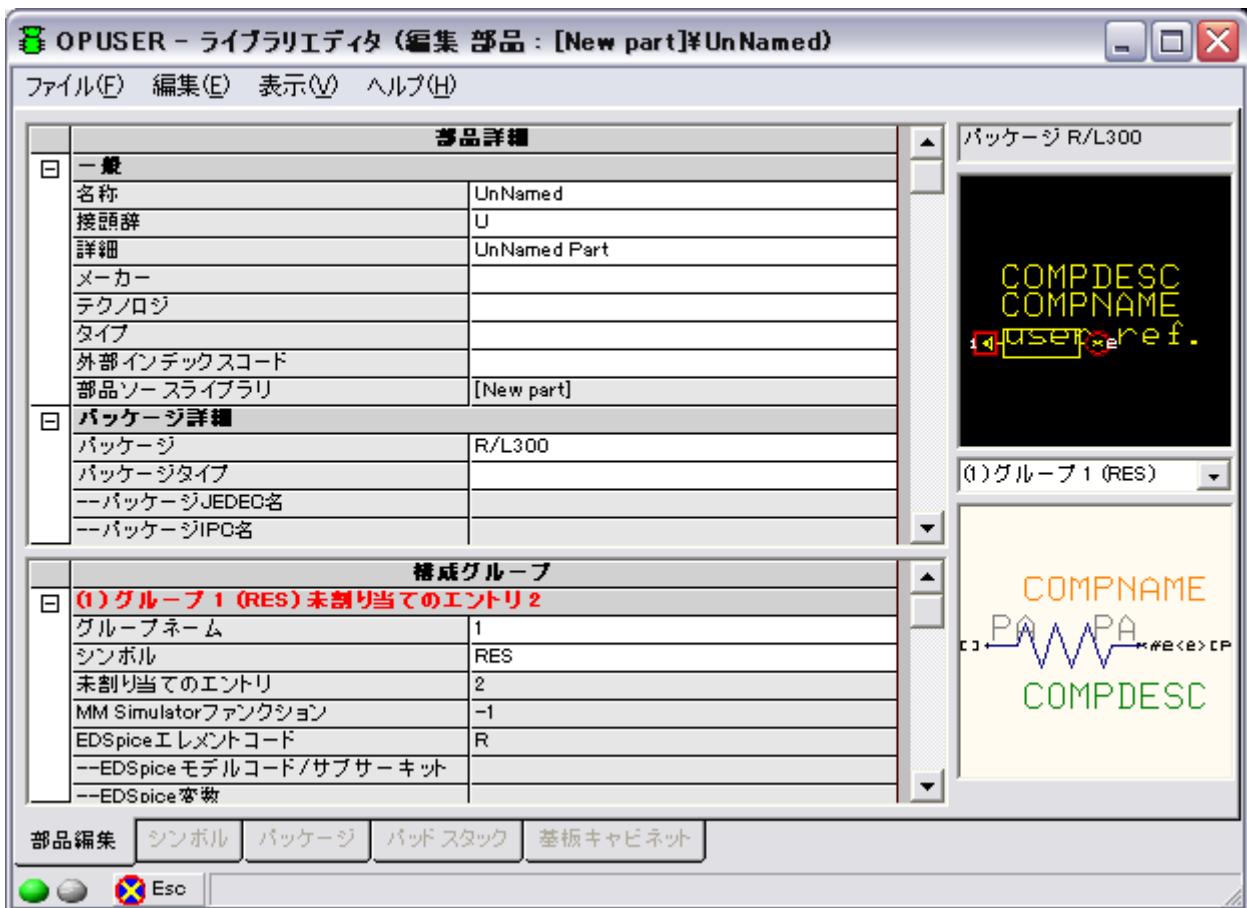
シンボルの名称を入力します。



この場合も名称が誤っていると、下記ダイアログが表示されます。

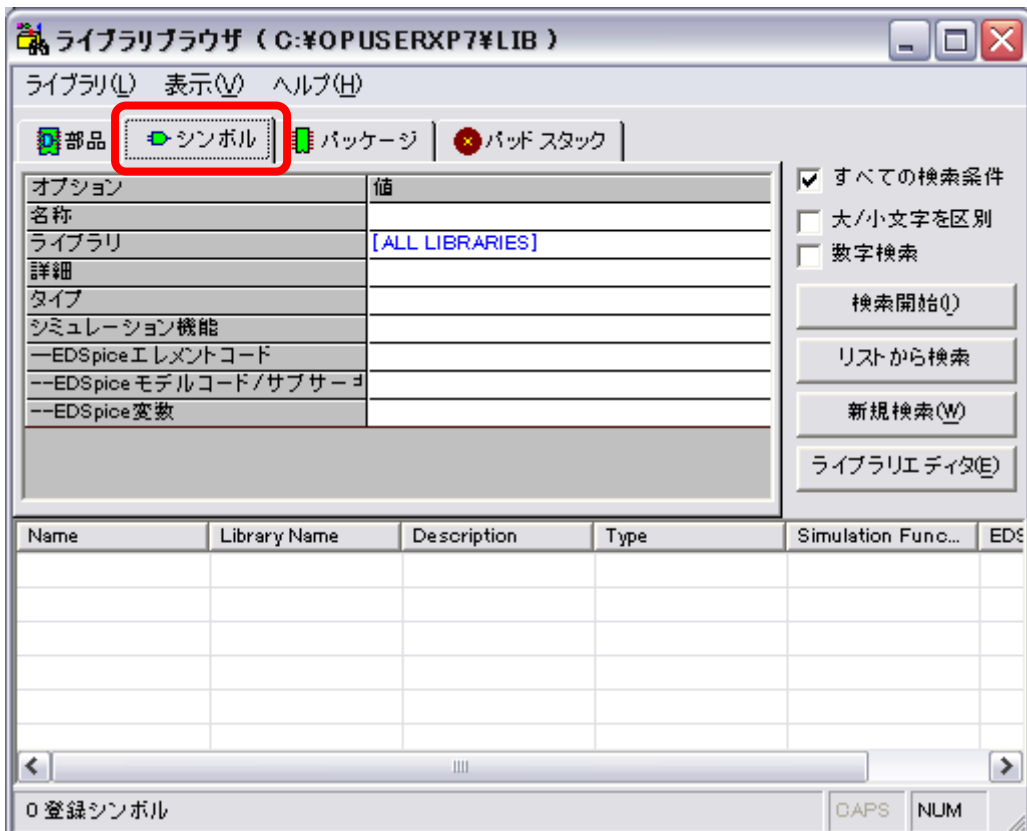


名称が正しい場合は、シンボルがよみこまれます。

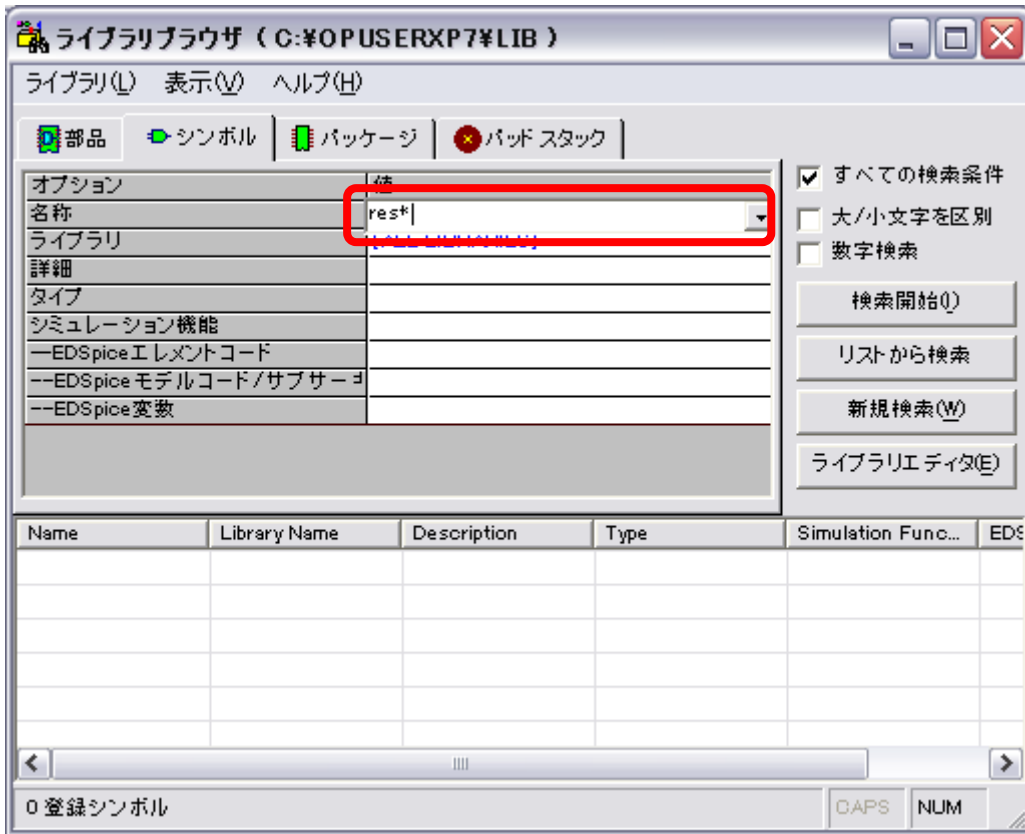


今回は『ライブラリブラウザ』を起動（起動はメインウィンドウの『ライブラリ』の上で右クリックして選択）

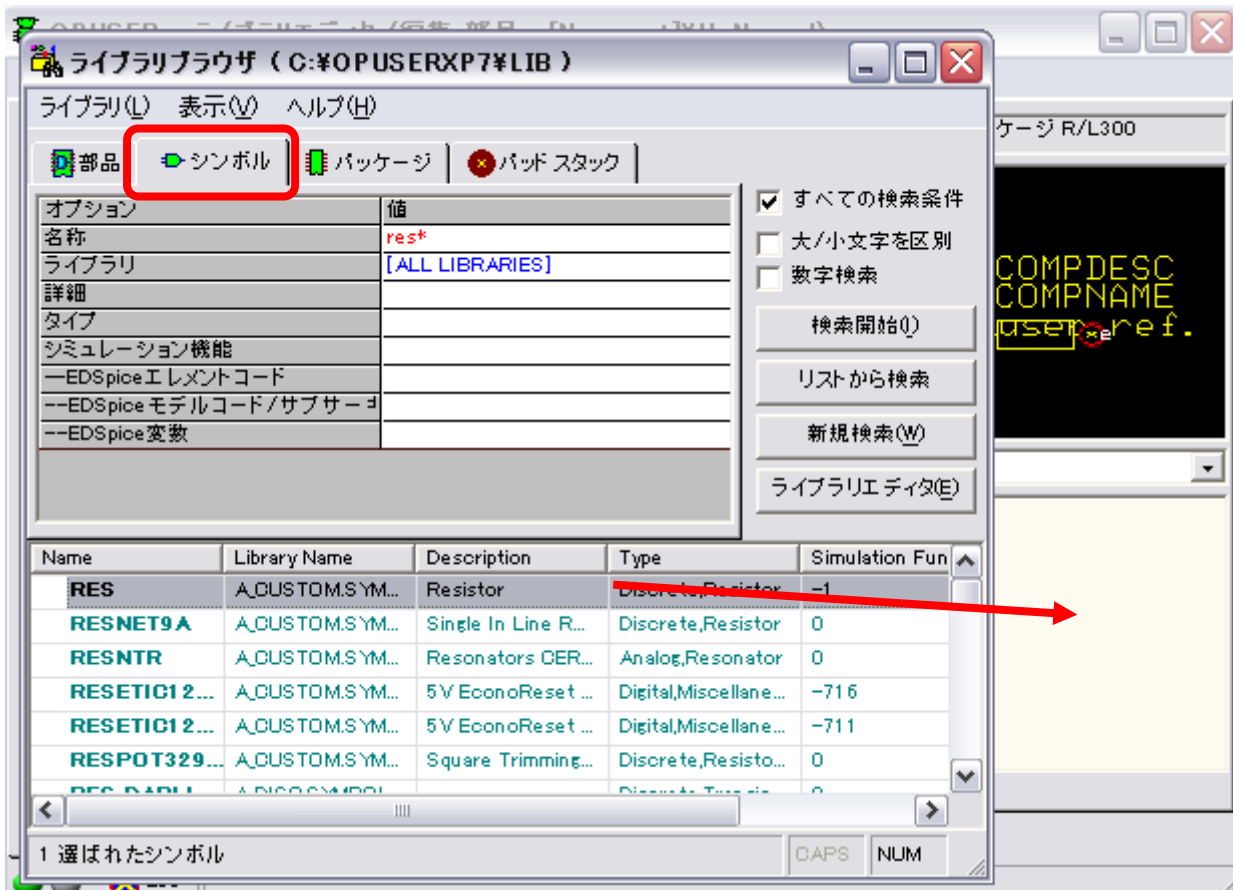
シンボルタブを選択します。



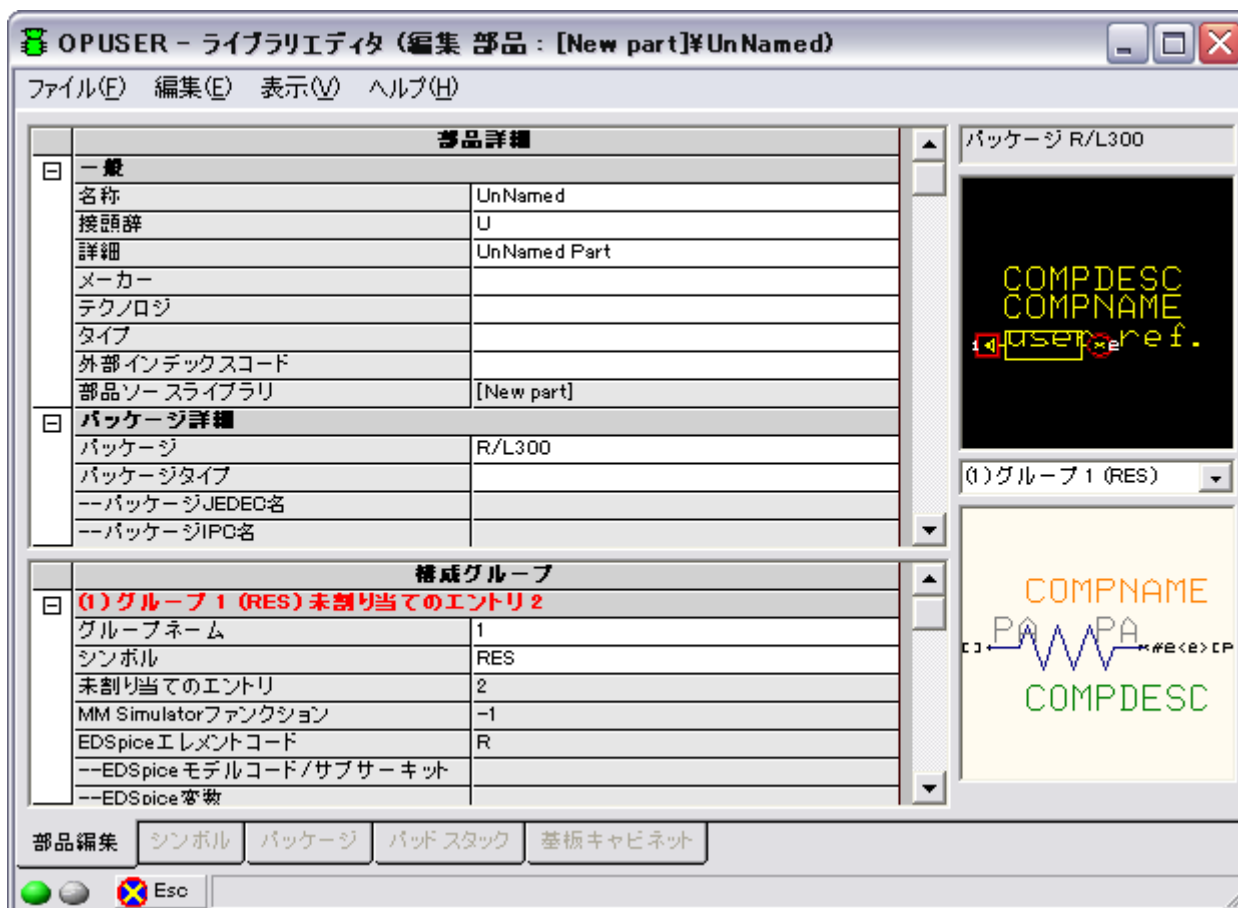
検索する名称を入力、検索開始をクリックします。(アスタリスクが使用可能です)



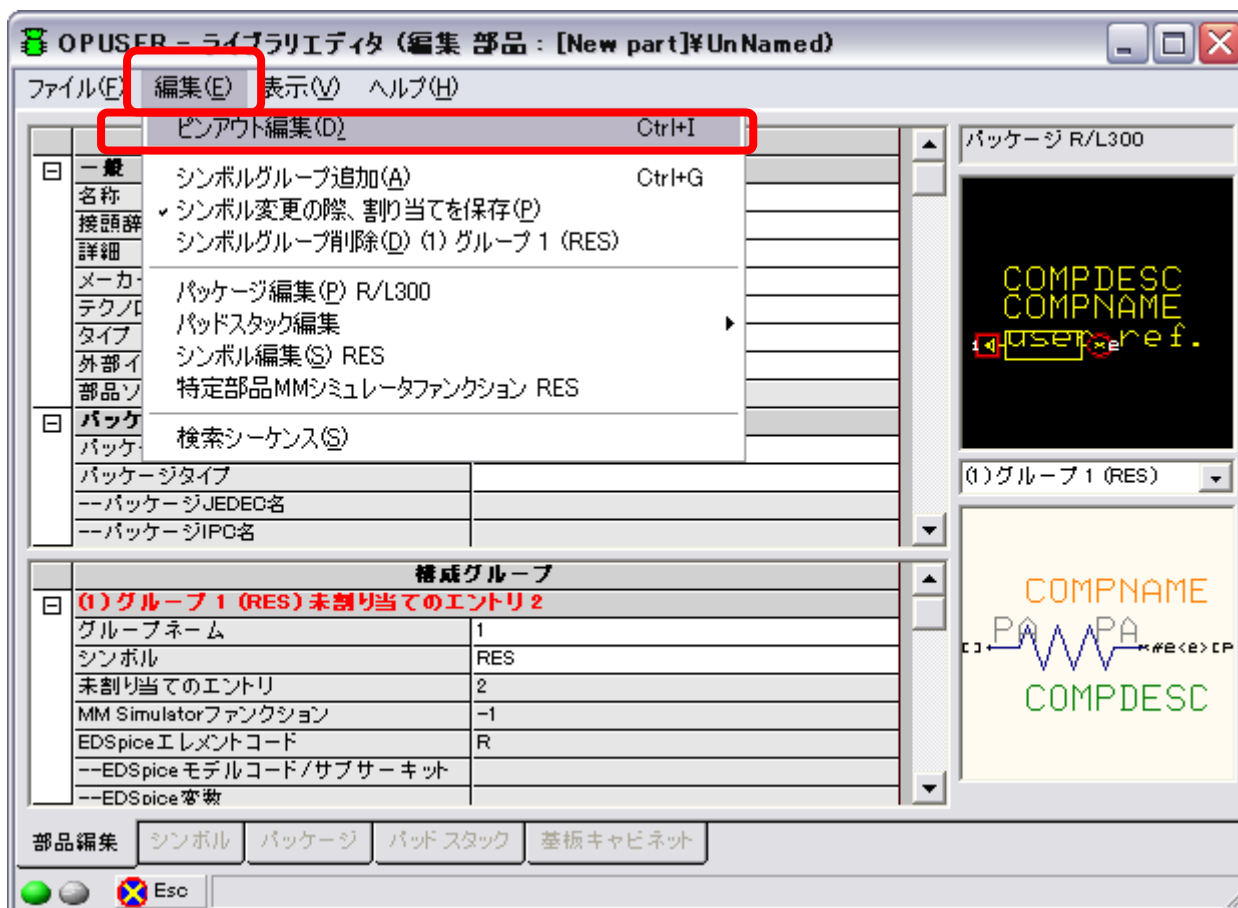
検索結果からライブラリエディタへドラッグ&ドロップ。



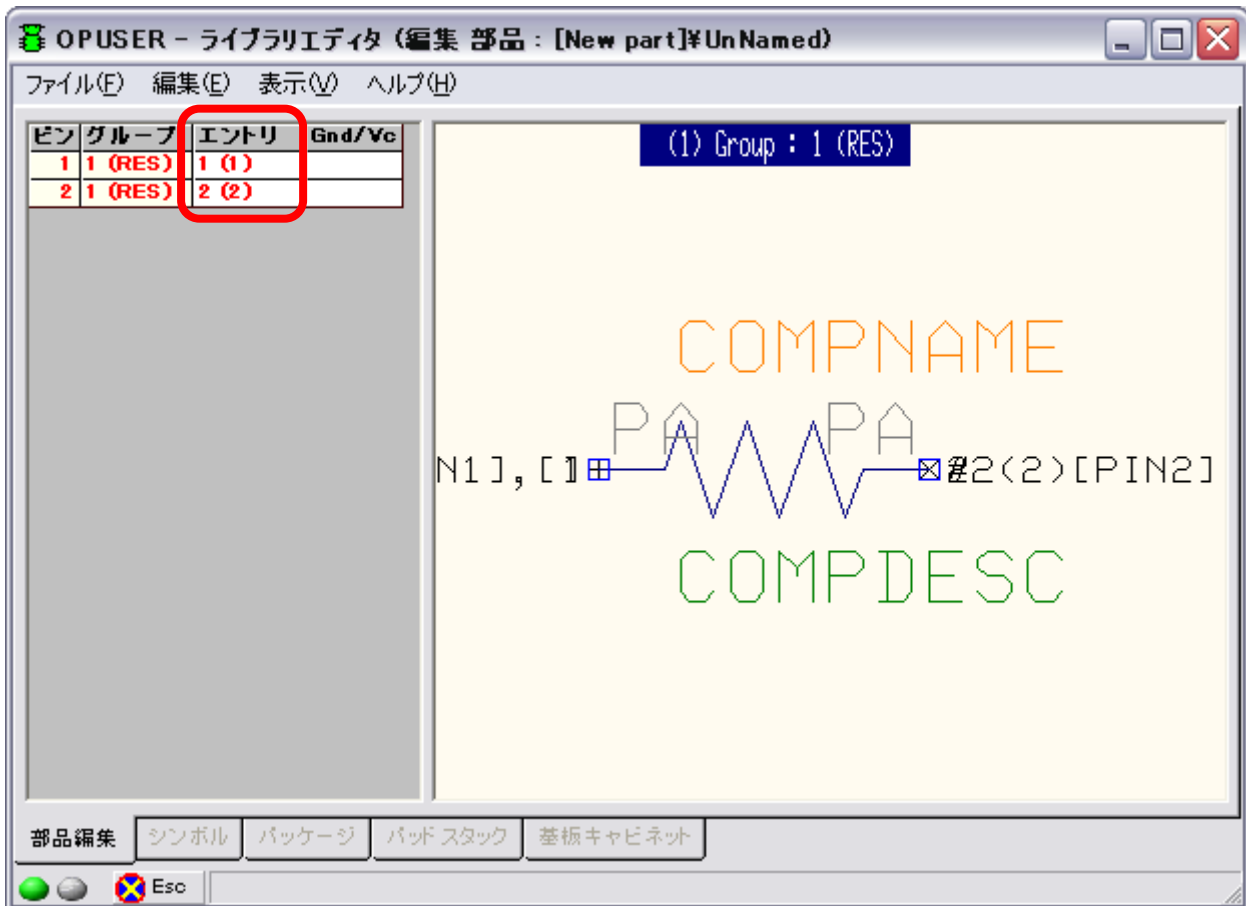
シンボルが読み込まれます。



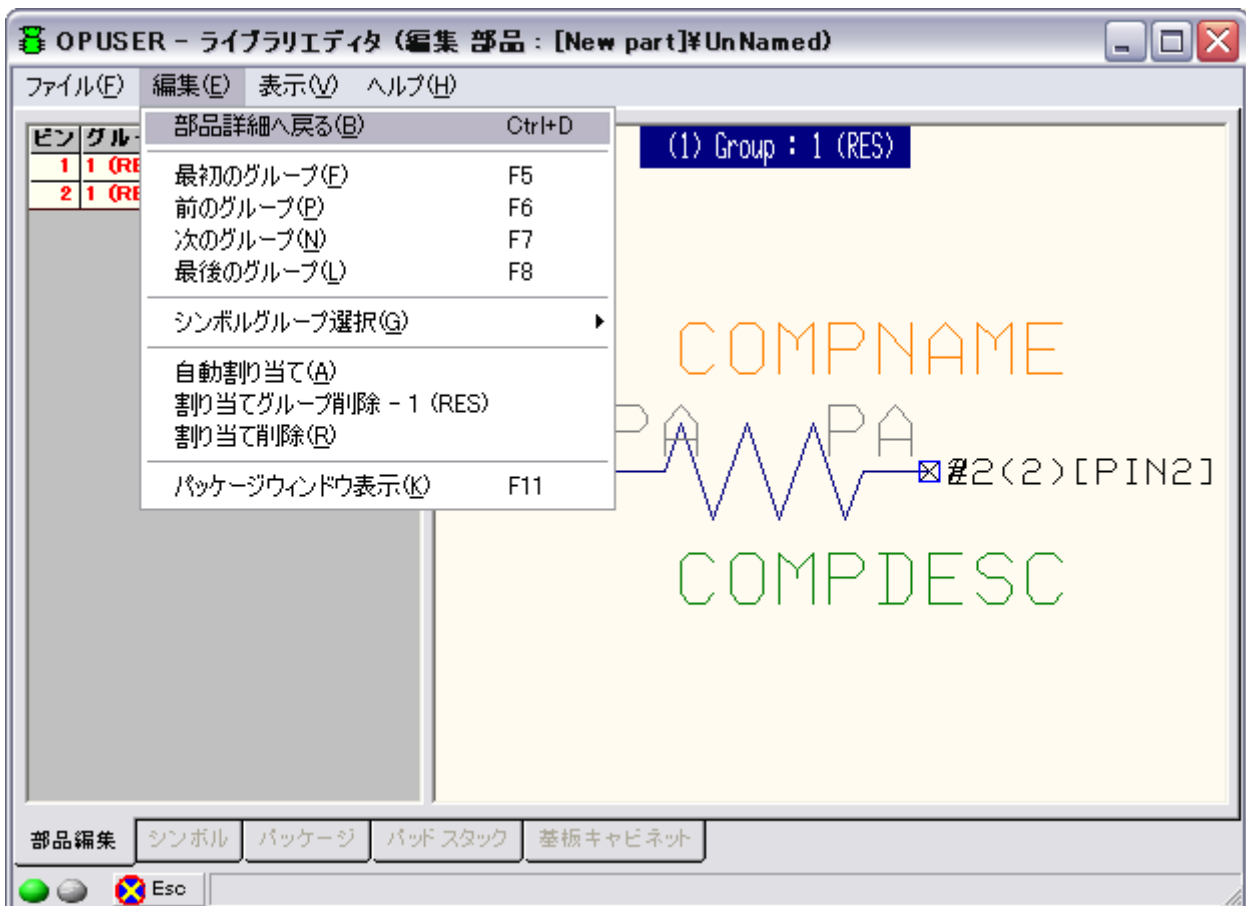
読み込んだシンボル/パッケージのピンアサインを行います。『編集/ピンアウト編集』を選択。



右側にシンボルが、左側にはパッケージのピンナンバーが表示。『エントリ』部分にシンボルのピンナンバーを入力します。



割り当てが終わったら元の画面に戻ります。『編集/詳細へ戻る』を選択



部品の『接頭辞』と『部品名称』を入力します。

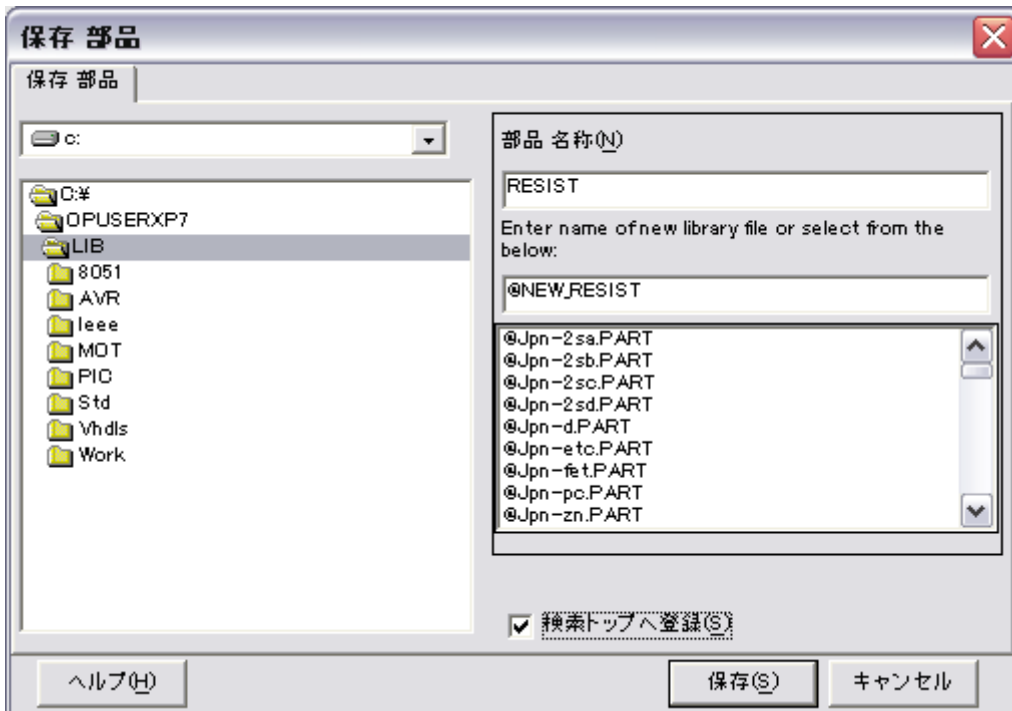


『ファイル/保存 名前を付ける』を選択。



部品名称を確認（半角英数）、保存ライブラリを選択、もしくは入力（半角英数）します。このとき、インストール時に作成されたライブラリはシステムライブラリと認識されており、上書き出来ませんので注意して下さい。

『検索トップへ登録』にチェックを入れて、『保存』をクリックします。



エディタの画面が表示されたら作業終了です。

